

聖書

聖書は、創造者なる神の「知恵、知識、真理の宝庫」

「直ぐな心で (ヨシエル)」、聖書に向かう者は多くの宝を見つけ、何よりも神に出会う

詩篇 119 : 7、エペソ人 6 : 5 「真心から」、マタイ 13 : 44-46

しかし、深く知ること「知識」をどれほど積んでも、信じ委ねる「信仰」には至らない

- ② ダイナミックな多角的、立体構造 :
神の視点、人類史に先立って配備された摂理
- ③ 古代ヘブル (イスラエル) 史を通して記された正確な人間史 :
過去 (史実) を学び、現在を見分け、未来を見通す洞察力習得のテキスト

使徒パウロの宣教 その11

『テサロニケ人への手紙第一』5章、『テサロニケ人への手紙第二』1章

5章

- : 1 「兄弟たち。それらがいつなのか…あなたがたは…必要がありません」 :
*それがいつ、どんなときか知ることにはあなたがたに必要ない
- : 2 「主の日が夜中の盗人のように来るということは、あなたがた自身がよく承知して…」 :
*盗人について、だれもいつ来るかを知らない
*しかし、主が間違いなく来られることは、テサロニケの人々には教えられていた

主の日

☆主のしもべたちが報酬にあずかる日

☆迫害が増し、信徒にとっても苦難のとき、しかし、

この世が神の裁き、怒りの対象となるのに対し、信徒は神の贖いの対象で、怒りから守られる

1. イザヤ書 13 : 9-13 ほか
2. エレミヤ書 30 : 3
3. マタイ 24 : 21-22
4. 黙示録 3 : 10
5. Cf. マタイ 24 : 37-39 ノアの日、ルカ 17 : 28-30 ロトの日

- : 3 「人々が『平和だ。安全だ』と言っているそのようなときに…彼らに襲いかかります…」 :
* 備えのできていないこの世の「人々」には、主の日は突然降りかかる
「突如として滅びが彼らに襲いかかり」 :
* キリストを受け入れなかった者の神からの永遠の隔離
「産みの苦しみ」 :
* 避けることはできない

- : 4 「しかし…その日が、盗人のようにあなたがたを襲うことはありません」 :

その日=主の日

☆地上にキリストによる千年統治を画する

☆神が人類史にご介入、御国を樹立される

- : 5 「あなたがたはみな、光の子ども、昼の子どもだから…夜や暗やみの者ではありません」 :
* 主の顕れるとき、
信じる者と信じない者がこの世でそれぞれ異なった世界に生きていたことが、明確になる
- : 6 「ですから…目をさまして、慎み深くしていきましょう」 (下線付加) :
* 「眠る」、一霊的現実に関心— の反対

聖書

真の預言的教え

☆警告として受け止め、指示に従って、今の姿勢を正すことが促される

☆キリストの再臨の緊迫、信徒を「キリストのために生きること」へと駆り立てる

: 7 「眠る者は夜眠り、酔う者は夜酔うからです」 :

*5節の「暗やみの者」

: 8 「しかし、私たちは昼の者なので、信仰と愛を胸当てとして着け、救いの望みを…」 :

*5節の「昼の子ども」、信仰、愛、希望に生きる

神の武具

☆信徒は「見張り人」であるだけでなく、突然の攻撃に対して自らを守る兵士でもある

: 9 「神は、私たちが御怒りに会うようにお定めになったのではなく…救いを得るように…」 :

*終末論的意味合い

*「主の日」＝「御怒りの日」

「救い」の時制

「私は救われた、救われている、救われるであろう」

1. 義認 過去形 罪の刑罰からの隔離
2. 聖化 現在形 罪の力からの隔離
3. 栄光化 未来形 罪の存在からの隔離

☆信徒はすでに義認を所有

☆キリストの再臨時、信徒に相続が与えられる

☆キリスト者は、1、2の過程を歩み、3、相続に向かっている！

: 11 「…あなたがたは、今しているとおりに互いに徳を高め合いなさい」 (下線付加) :

*守るべき二十二の戒めが続く

1. 互いに励まし合いなさい

2. 互いを高め合いなさい

: 12 「兄弟たちよ。あなたがたにお願いします…指導し、訓戒している人々を認めなさい」 :

*信徒はみな神の家族

3. 指導者を認めなさい

: 13 「…愛をもって深い尊敬を払いなさい。お互いの間に平和を保ちなさい」 :

4. 指導者を深く尊敬しなさい

5. お互い平和を保ちなさい

: 14 「…気ままな者を戒め…」 (下線付加)、「怠惰な者を諭し」 (新改訳2017) :

6. 無秩序な者に警告しなさい

7. 小心な者を慰めなさい

8. 弱い者を助けなさい

9. すべての人に対して忍耐しなさい

*これら三通りのグループの者にはすでに4章で言及

: 15 「だれも悪をもって悪に報いないように気をつけ…いつも善を行うよう務めなさい」 :

10. 悪に対して悪を返さないように気をつけなさい

11. だれに対してもいつも善に従いなさい

: 16 「いつも喜んでいなさい」 :

*「喜ぶ」＝神の御旨に生きること

12. いつも喜びなさい

: 17 「絶えず祈りなさい」 :

13. 休みなく祈りなさい

*祈りのときを継続する

: 18 「すべての事について、感謝しなさい…神が…望んでおられることです」 (下線付加) :

14. すべてのことにおいて感謝しなさい

*「～において」感謝する、「～を」ではない！

聖書

- : 19 「御霊を消してはなりません」 :
 15. 御霊を消してはなりません
 * 「消す」とは、神に「否」と言うこと
- : 20 「預言をないがしろにしてはいけません」 :
 16. 預言を軽蔑してはなりません
 * しかし、21節を適用する必要！
- : 21 「しかし、すべてのことを見分けて、ほんとうに良いものを堅く守りなさい」 :
 17. すべてのことを吟味しなさい
 18. よいものはしっかり保ちなさい
- : 22 「悪はどんな悪でも避けなさい」 :
 19. すべての類の悪を避けなさい
- : 23 「平和の神ご自身が、あなたがたを全く聖なるものとしてくださいますように…」 :
 * 「罪の完全な根絶」の意ではない
 * そのような視点に立って「聖め」を扱っている聖句は一つもない
 「霊、たましい、からだ」 :
 * 人は、三元構成
 † 霊＝神の意識
 † 魂＝自我の意識
 † 身体＝この世の意識
- : 24 「あなたがたを召された方は真実ですから、きっとそのことをして下さいます」 :
 * 神が始められたことは、神が終わられる
- : 25 「兄弟たち。私たちのためにも祈ってください」 :
 * パウロ、この手紙をテサロニケの人々に、まず、
 自分が彼らのために祈っていることを明らかにして、書き始めた
 20. 指導者のためにも祈ってください
- : 26 「すべての兄弟たちに、聖なる口づけをもってあいさつをなさい」 :
 21. 挨拶の口づけを互いにしなさい
- : 27 「この手紙がすべての兄弟たちに読まれるように、主によって命じます」 :
 22. この手紙を読みなさい
 * パウロ、事実を曲げた教えに用心するよう警告する必要を感じ、この手紙を送った
 * しかし、それ以上に、すべての人たちに慰めと導きを与えることを望んだ
- : 28 「私たちの主イエス・キリストの恵みが、あなたがたとともにありますように」 :
 * パウロ独自の祝祷

パウロの強調

- ☆ 信徒が最後まで忍耐強く身を聖く保つことの重要性
- ☆ 迫り来る困難を乗り越え、主に会うための備えをする励まし
- ☆ そのための実践的な備えの指導

⇨ 「勝利を得た者は再臨の主から報酬をいただく」と語ることは、実践への正しい動機づけ

テサロニケ人への手紙第一、第二

- ☆ 最初の書簡『テサロニケ人への手紙第一』 携挙と主の日
- ☆ 二通目の書簡 偽物
- ☆ 三通目の書簡『テサロニケ人への手紙第二』 動揺、疑問に対するパウロの返答

1章

- : 3 「…私たちはいつも神に感謝しなければなりません…」 (下線付加) :
 * 借金を支払うために用いられる用語
 * パウロ自身、兄弟たちのことを神に感謝する義務がある

聖書

★キリストの愛に動機づけられた慈悲深い善意、ここでは、支給、施しへの言及

★パウロの祈りへの答え →テサロニケ人第一3：12ほか

信仰と愛に成長している信徒への対処法

1. 本人を直接ほめる
 2. 祈りの中で私的に言及、本人には何も言わない
 3. パウロの場合
- ：4「…すべての迫害と艱難とに耐えながらその従順と信仰とを保って…」（下線付加）：
 ＊重荷の下にずっといる
 ＊嵐は船乗りを測るが、静かな海は測らない
- ：5「…あなたがたが苦しみを受けているのは、この神の国のためなのです」（下線付加）：
 ＊4節で、迫害と艱難に言及
 ＊信徒はこの世に、動揺、分裂、憎悪、争いを起こすために遣わされた →マタイ10：34-39
 ＊キリストにあって神の御心に生きるすべての者は、迫害に遭う →テモテ第二3：12
- ：6「つまり、あなたがたを苦しめる者には、報いとして苦しみを与え」：
 ＊報恩の原則は、道徳的な宇宙にあって私たちの信念の基盤
 ＊現在の不正は、未来の報復を要求
 ＊「復讐はわたしのもの」と神は言われた →ローマ人12：19
- ：7「…報いとして安息を与えてくださることは、神にとって正しいこと…」（下線付加）：
 ＊「主の再臨」のときに起こる「携挙」への言及
 ＊主のために苦しんで来た者たち、天の軍勢とともに来られる主から安息への報酬を受ける
- ：8「そのとき主は…私たちの主イエスの福音に従わない人々に報復されます」（下線付加）：
 ＊神の揺るぎない正義の執行
 ＊ヘブル語（旧約）聖書がヤーウェだけに保留した機能を、初代教会は主イエスに帰した「報復」はその一例
 ＊主の再臨のときは、信徒にとっては報酬にあずかる日、信じなかった者には「報復の日」
- ：9「そのような人々は…退けられて、永遠の滅びの刑罰を受けるのです」（下線付加）：
 ＊地獄への言及
 ＊主からの隔離、究極的、永久に続く災い
- ：10「その日に主イエスは来て、ご自分の聖徒たちの間であがめられ、信じたすべての者たちの間で感嘆の的となられます。そうです。あなたがたに対する私たちの証しを、あなたがたは信じたのです」（新改訳2017）：
 ＊信徒は、一瞬のうちにキリストの似姿に変えられる
- ：11「…神が…善を慕うあらゆる願いと信仰の働きとを全うしてくださいますように」：
 ＊未来と現在を関連づけるのは、祈り
 ＊神が用意しておられる行く先にふさわしい生き方をしなさい
 ＊神と神の御旨に反抗する人たちの多い困難なこの世で、信徒たち、信仰を最後まで生き抜かなければならない

千年期に関する諸節			
キリストの御国	千年期前再臨説	千年期後再臨説	無千年期説
樹立、支配場所	地上	地上	天上
千年支配の時期	キリストの再臨後 千年間	キリストの再臨前 千年間	キリストの初臨と 再臨との間の年月 (二千年+α)
悪魔の縛りの時期	未来	現在	過去
第一の復活	幸いな者たち	キリスト	霊への復活
第二の復活	残りの者、すべて	キリスト者	身体の復活
支配する者たち	勝利を得た者	生きている信徒	死んだ信徒たち